

あきらめていた「家族旅行」を、もう一度。

Good Time

人生で一番輝くとき“グッドタイム”



山本
龍二のグッドタイム
旅行業のスペシャリスト、ユナイテッドツアーズ代表取締役社長

春山 満語録

第七回『若者よ、だまされるな！』

世の中がどう見るかなんか、ほっとけ。自分が変われば、世界は変わる

【編集後記】ニッチのガリバー

【言の葉】第六回『やさしさ』

Good Time World Vacation

憧れのハワイ航路をもう一度、懐かしい日本の風情を感じる、いまホットな台湾へ。

07

2019.july

旅行業のスペシャリスト、ユナイテッドツアーズ 代表取締役社長

山本 龍二 の グッ ド タイ ム



山本 龍二 Ryuji Yamamoto

株式会社 ユナイテッド ツアーズ 代表取締役社長

1957年生まれ。80年に近畿日本ツーリスト(株)に入社。
2012年同社執行役員、13年近畿日本ツーリスト(株)取締役、
クラブツーリズム(株)取締役、近畿日本ツーリスト個人
旅行代表取締役専務を勤め、2016年、現職に就任。

「第三の人生をハッピーに過ごしたい」と願う人の気持ちを叶える旅行を提供したい。

普通“のサポートを”普通“にできる旅行を実現したかった

春山哲朗（以下、春山） この度、御社と私どもハント・イネットワークインターナショナルは、介護付き旅行業の業務提携をさせていただくことになりました。そもそも山本社長が、介護付き旅行に関心を持たれたきっかけは何だったのでしょう。



山本 私が旅行会社に入つて5年目のとき、ある団体の旅行に同行して、イタリアのロッピアーノや奇跡の水と言われるフランスのルルドの泉に行つたのです。そこはいわゆるサンクチュアリ（聖域）みたいなところで、ハンディキャップを抱えた人もそうでない人も、みんな普通に、平等に過ごす共同村だったのですが、その光景を見たときに衝撃を受けました。日本では見られない人間同士の関わり合いがあったのです。それがずっと心の中につけて、そんな中で春山さんと出会い、春山さんの介護付き旅行の取り組みに深く共鳴しました。

個人個人のベストシーズンに対応する“一ツチ”なサービスを提供したい

春山 たしかに、日本は高齢者や障がい者を健健康な人たちと区別していることがありますよね。ワールドワイドな視点で見ると、ここまでしっかりと分けるのは区別ではなくて差別の領域に入るんじゃないかと感じています。例えばアメリカでは、道を車いすで自走している方がいるし、周りの人たちが自然に手を差し伸べます。特別に勇気を出してやっているわけではなく、日常生活の出来事として。日本は、こういう心のバリアフリーというか共に暮らし合つ調和の文化がまだ浸透していない気がします。

山本 そうですね。海外では、そういう普通のサポートを普通にできる旅行会社もたくさんあります。ただ通路を整備するとか、きれいにすると

山本 なるほど。少し話がずれるかも知れないの

か、そういう問題ではないんです。外国の人は、これは障がいのある方は行けないとか、そういう発想がない。本来は誰もが世界中どこへでも行けるし、行く場所に不便があつても、現地の人がサポートしてくれるわけですから。だから、道が整備されていないと、階段が多いとか、そういう理由で旅行に行けないというのはナンセンスだということを、もっと訴えていく必要がありますね。



ですが、私の会社では海外への修学旅行も手配しています。生徒さんのなかには、配慮が必要な方がいます。例えば、精神疾患があったり、いわゆる不良のレッテルを貼られるような子どももいたりするのですが、モンゴルの大平原で1週間くらい過ごすと、登校拒否や大人への反発がなくなるという現象が起きています。乳搾りなどの農業体験をしたり、自分たちで考えて行動しないと誰も助けてくれないような環境にいたりすることでも、学校で1年かけて情操教育をするよりもはるかに早いスピードで、心が豊かになるんですね。そういうことを考えても旅をして何かを体験するということは、人生において必要なことだと思います。



す。日本の旅行会社の多くは「ベストシーズンはこの時期」と決めがちですが、本当のベストシーズンは、旅行に行く人が自分自身で決めるものです。だから、ウエルカムのホスピタリティさえしっかりしていれば、色々な旅のプランがあつてもいいと思っています。日本の旅行会社がそういうプランが少ないのは、海外旅行であつても現地手配まで日本人同士で完結しようとしているからです。現地に住む日本人よりもローカルの旅行会社と組んだ方が、その国に対する理解も深いし、さきほど話したような差別のような文化もありません。

春山 たしかにそうですね。海外に旅行したとき、現地で直接ローカルの旅行会社に行けば、色々なプランやサービスを受けられることがあります。でも日本人って、そういう現地リサーチが苦手な人が多いですね。

ユナイテッドツアーズという会社は、ニッチな世界でのトップを目指しています。

春山 なるほど。ニッチの中でトップを狙うという発想は非常に参考になります。具体的には、どういうことを意味するのですか。

山本 これから春山さんと一緒にやろうとしていることも、思いきりニッチな旅行にしたいですね。私の会社は、とくに台湾とハワイのネットワークが強いのですが、若い頃にまだ高額だったハワイに旅行をしていた高齢者の方々が、要介護になつたけれど、憧れのハワイにもう一度行けてよかつたね、というような。介護の資格をもつ旅行専門のスタッフによる本質的な介護旅行を提供したいと思っています。そこは御社の知識や経験の知恵をお借りして、他の会社がやりたくてもできないような、ニッチな介護旅行を提供したいです。

山本 例えれば、春山さんがマイナス20℃のモンゴルに行くとしたら、寒過ぎてベストシーズンじゃないと感じますか。

春山 はい、そうですね。

山本 例えば、春山さんがマイナス20℃のモンゴルに行くとしたら、寒過ぎてベストシーズンじゃないと感じますか。

春山 そうなんですが、私はニーズだけでは物足りないと思っています。人が心の中に持つている

ウォンツをどれだけ掘り下げられるかが、サービス業として大事なことなのではないかと。そういう観点で、高齢者の方々のウォンツに応える商材は何かと追求したときに、旅行がぴたりと当たはりました。すでに、旅行に行かれたお客様が旅行前より元気になられたという実例もあり、生きる活力になるようなサービスを提供できていると思っています。

春山 提供したいと思っています。そういう意味では、

春山 そうなんですが、私はニーズだけでは物足りないと思っています。人が心の中に持つている

ウォンツをどれだけ掘り下げられるかが、サービス業として大事なことなのではないかと。そういう観点で、高齢者の方々のウォンツに応える商材は何かと追求したときに、旅行がぴたりと当たはりました。すでに、旅行に行かれたお客様が旅行前より元気になられたという実例もあり、生きる活力になるようなサービスを提供できていると思っています。

春山 提供したいと思っています。そういう意味では、

山本 でも、凍てつく氷の世界を体験したい人にとつては、ベストシーズンはマイナス20℃なんで

誰もやつていないと普通のこと“にチャレンジする。

サービス業から社会貢献まで

第三の人生を

「グッドタイム」にするために

春山 山本社長は、以前は近畿日本ツーリストの団体旅行を専門とする部署に長く勤めていらっしゃいましたよね。

山本 はい。団体ツアーでしたので、運営上効率性を重視しなければならなくて……。だからこそ、春山さんとのツアー企画では、ずっと世の中に発信したいと思っていたロッピアーノやルルドの泉で感じた想いを実現したいと考えています。

春山 御社は、東京2020オリンピック・パラリンピックのオフィシャルパートナーであるKNT-CCTホールディングスのグループ会社ですね。御社も応援に参加されていると伺いました。

山本 そうなんです。プロボノ（職能を生かす新しいボランティアの形）として、利益を追求するだけではなく、私どもが扱っている海外旅行という分野で社会貢献も行っていきたいと思い、参加しました。その取り組みを拡大して、訪日インバウンドにも力を入れていきたいと思っています。そういう面でも、ぜひ御社のお力を借りしたいです。

春山 ありがとうございます。私どもがしていることは、お客様とホテルや観光地の間に立つronicsシェルジューのような役割だと思っています。

例えば、山本社長のような旅行業を専門としていたり、ホテルを運営していたりする方々は、介護は専門外なので、要介護のお客様を受け入れたくてもどう受け入れてよいのかわからない。気持ちはあっても対応が十分でないと、相手に悪い印象を残してしまいます。そうした行き違いを、私どもが双方の情報を理解して、双方にきちんと伝える。伝えることができれば、日本のサービスレベルからすると対応は十分可能なで、そうした仕組みを今後より強固にしていくたいと考えています。

山本 心強いです。私どもも、海外留学やスポーツ競技のサポートなど、旅行業から派生するニッチなサービスを日々拡大中です。そこにも、体や心の病気でバリアを感じている人たちが、あきらめていた夢を叶えられるようなサービスをしていきたい。今、御社が掲げている“グッドタイム”的なとなつたデンマークの素晴らしい第三の人生成ってどんな暮らしなのか、自分なりに理解を深めているところです。共にがんばりましょう！

サンクチュアリ（聖域）で見た、誰もが世界中どこへでも行けるバリアフリーな社会に。





Editor's Note
by Tetsuro Haruyama

春山 哲朗 編集後記

07

ニッチのガリバー

ユナイテッドツアーズの山本社長と初めて出会ったのは2年前のこと。旅行業界の大先輩であるエフネス＆アソシエイツの岡田代表に京都のお茶屋で紹介いただいた。これは日本の伝統・文化を若い世代にも経験させ次世代に繋げたいと岡田社長が定期的に開催されている集まりだ。そこで旅行業界の大先輩方に生意気にも“グッドタイムトラベル”的コンセプトを説明したところ大変興味を持っていただいた。ユナイテッドツアーズは、大企業近畿日本ツーリストグループのため、我々のニッチな旅行は見向きもされないとと思っていたのが本音だった。

しかし、違った。今回のインタビューを通してなぜ弊社に興味をもたれたのかが良く理解いただけたことから世界のバリアフリーが日本とかけ離れすぎていることを存じだつた。日本でいうバリアフリーとは、ハード面を重視し、その問題をクリアフリーと表現する。もちろんハード面の問題をクリアすることは重要なことだが、それよりも重要なのが『心のバリアフリー』なのである。歐米では、障がいの有無に関わらず困っている人が目の前にいれば躊躇なくスッと手を貸す。これが本当のバリアフリーなのだ。

そして日本では、バリアフリーという言葉を障がい者や高齢者にだけ当てはまる言葉としている

春山 哲朗

株式会社ハンディネットワーク インターナショナル
代表取締役

1985年、春山 満の長男として生まれる。高校を卒業後ハワイの大学へ留学。その後、アメリカネバダ州のUniversity of Nevada, Las Vegasへ編入。2007年、春山 満からビジネスを学ぶため、(株)ハンディネットワーク インターナショナルへ入社。2012年、同社 取締役に就任。2014年、代表取締役に就任。2015年、新事業「グッドタイムラベル」のサービスを開始。2017年、外国人介護士への教育・研修を開始。
2014~2017年、MBSラジオ「失くしたものを教えるな! 大丈夫や~!!」のパーソナリティを務める。著書に「脳から血へ~るほど考える!!」「若者よ、だまされるな!」(週刊住宅新聞社)がある。

ユナイテッドツアーズの山本社長と初めて出会ったのは2年前のこと。旅行業界の大先輩であるエフネス＆アソシエイツの岡田代表に京都のお茶屋で紹介いただいた。これは日本の伝統・文化を若い世代にも経験させ次世代に繋げたいと岡田社長が定期的に開催されている集まりだ。そこで旅行業界の大先輩方に生意気にも“グッドタイムトラベル”的コンセプトを説明したところ大変興味を持っていただいた。ユナイテッドツアーズは、大企業近畿日本ツーリストグループのため、我々のニッチな旅行は見向きもされないとと思っていたのが本音だった。

しかし、違った。今回のインタビューを通してなぜ弊社に興味をもたれたのかが良く理解いただけたことから世界のバリアフリーが日本とかけ離れすぎていることを存じだつた。日本でいうバリアフリーとは、ハード面を重視し、その問題をクリアフリーと表現する。もちろんハード面の問題をクリアすることは重要なことだが、それよりも重要なのが『心のバリアフリー』なのである。歐米では、障がいの有無に関わらず困っている人が目の前にいれば躊躇なくスッと手を貸す。これが本当のバリアフリーなのだ。

そして日本では、バリアフリーという言葉を障

ことも間違いでいる。体の元気や身体機能は年を重ねるとある時から減退していく。これは誰もが通る道である。体の元気を取り戻すには、まずは心の張りが重要だと僕は考える。どの世代でも生きる上で『楽しみ』は必要だ。高齢になり体に不安を覚えただけでこの楽しみが奪われる日本にはしたくない。生きることは猥雑なものであり、豊かなものでなければならない。そのためにも『楽しみ』は、バラエティ豊富な選択肢があり自分で選択できる環境を創らなければいけないと考えている。

山本社長と創り出した新しい海外旅行は、人がただ単に生きながらえるのではなく、最期までそれをのグッドタイムを過ごせるような新しい日本の老いの価値を創りたいとの想いを込めている。そして、それは間違いなく日本人にとってなくてはならない選択肢の一つである。ニッチ過ぎるとご意見をいたくともあるが、私たちはニッチのガリバーとなるべく邁進する。

東京に出張中の早朝に突然、電話がかかってきた。知らない人からの早朝の電話。恐る恐るアイフォンを耳にあてると私の知人(Nさん)の姪御さんであることが分かった。Nさんは、独居だがこの1か月体調が悪く、とみに食欲がなくなり最近は殆ど水以外、口にしなくなり、無口にもなり、時に苦しい表情をしていると姪御さんは電話口で言われる。さらに続けて、常々、医師である私の話を姪御さんにしていたとのことだが、いつも「忙しい先生だから決して電話しないように」と話の最後に言われていたため、これまで電話できなかつた。でも、今日はいつもと様子が違うので意を決して電話した。仕事をキャンセルして新幹線で大阪に帰り、自宅を訪れるときしそうにベッドに臥しておられる。久しぶりの再会だが、挨拶もそこそこに診察させていただくと急性腹膜炎の状態だ。腸、肝臓、胆嚢などの炎症なのかもしれないは癌の可能性もあるため、病院での精密検査を勧めるもNさんは頑なに拒まれる。以前から病院受診を皆で勧めたそうだが決して受診されない。10年前に他界した主人が枕元に迎えに来ているから2日後には一緒に逝く」とNさんは言われる。私が一生懸命に説得してようやく病院へ行き精密検査をして頂いた。しかしながら治療を拒否されたため自宅に帰つてこられた。精密検査の結果、腹腔内腫瘍が原因ということはわかつた。水分も摂れない状態となっていたので余命日單位の段階であることを姪御さんに伝えて帰つた。

Column
by Manabu Tamura

言の葉

06 やさしさ

ホームドクター田村 学



田村 学

医療法人学緑会
おおさか往診クリニック
理事長

1989年 大阪大学大学院医学研究科博士課程修了
1992年 マサチューセッツ州立大学メディカルセンターアシスタントプロフェッサー
2001年 大阪大学医学部耳鼻咽喉科准教授
2008年 おおさか往診クリニック開設
2009年 日本在宅医学会理事
2010年 大阪大学医学部臨床教授
著書:『風になった医師』
『MITORI:End-of-Life Home Healthcare in Japan』

東京に出張中の早朝に突然、電話がかかつてきた。知らない人からの早朝の電話。恐る恐るアイフォンを耳にあてると私の知人(Nさん)の姪御さんであることが分かった。Nさんは、独居だがこの1か月体調が悪く、とみに食欲がなくなり最近は殆ど水以外、口にしなくなり、無口にもなり、時に苦しい表情をしていると姪御さんは電話口で言われる。さらに続けて、常々、医師である私の話を姪御さんにしていたとのことだが、いつも「忙しい先生だから決して電話しないように」と話の最後に言われていたため、これまで電話できなかつた。でも、今日はいつもと様子が違うので意を決して電話した。仕事をキャンセルして新幹線で大阪に帰り、自宅を訪れるときしそうにベッドに臥しておられる。久しぶりの再会だが、挨拶もそこそこに診察させていただくと急性腹膜炎の状態だ。腸、肝臓、胆嚢などの炎症なのかもしれないは癌の可能性もあるため、病院での精密検査を勧めるもNさんは頑なに拒まれる。以前から病院受診を皆で勧めたそうだが決して受診されない。10年前に他界した主人が枕元に迎えに来ているから2日後には一緒に逝く」とNさんは言われる。私が一生懸命に説得してようやく病院へ行き精密検査をして頂いた。しかしながら治療を拒否されたため自宅に帰つてこられた。精密検査の結果、腹腔内腫瘍が原因ということはわかつた。水分も摂れない状態となっていたので余命日單位の段階であることを姪御さんに伝えて帰つた。

翌朝の未明に呼吸が止まつたとの連絡があり最後の診断のために訪問した。ご自分の言われた通り、2日後に旅立たれた。やはりご主人がこられていたのだ。Nさんはとても思慮深い方で、生前は「高齢者は若者のために医療・介護の無駄遣いをしてはいけない!だから私は病院へは行かない！」が口癖だったそうだ。私が訪問して受診を勧めたとき、本当は病院には行きたくないなつたのだろう。病院から帰つて来てしんどい体をベッドに横たえたときに「病院に行つたのは、もしかして私のために?」と私が聞いたらニコッと笑みを浮かべられた。私へのやさしさだったのだ。日本の若者の将来を憂えて人知れず静かに眠つておられた高潔な女性をいつまでも記憶に留めておきたかったので書かせて頂いた。命を少しでも長く保つだけが医療の役割ではなく、その人らしい死を見守つてあげることも医療の大切な役割だ。その人らしい生き方を尊重することは医師のやさしさであり思いやりであると考える。



Message
by Mitsuru Harayama

春山 満語録

07

「若者よ、だまされるな！」

一番弟子とドラ息子の運命も変えた。
カリスマ車いす社長 魂のメッセージ。

世の中が どう見るかなんか、 ほつとけ。 自分が変われば、 世界は変わる

うまくいかないとき、うまくできないとき。人は「なんで俺だけ、いつも俺だけ」、ついこう考えてしまう。そして、自分が悪いんじゃない、周りが悪い、条件が悪い、環境が悪い、と負けた理由ばかり探し、分析して、やがて自分のせいじゃないと、見事にすり替える。こうやって、世の中に見られることばっかりを気にする。こんな人生は、ダメですよ。世の中がどう見るかなんか、ほつとけ。バカにするやつは、バカにさせとけ。僕はそうやって生きてきた。

足が悪くなつて歩けなくなつた。みんな情けなさそうに僕のことを見た。ただ、僕は残っている可能性だけを見つめた。そして、残されたものをフル活用して磨いてきた。手があるじゃないか。手も動かなくなつたとき、しゃべれるじゃないか。考えるじゃないか、ここに気づいた。いつも、自分に残された機能だけを、しつかり見つめて磨いてきた。そして、自分を変えてきた。

やがて、僕を見るみんなの目が変わった。

みんな、大丈夫や。自分が変わつていないんだよ。自分が変われば、世界そのものが変わるんだから。



春山 満

株式会社ハンディネットワーク インターナショナル 創業者

24歳より進行性筋ジストロフィーを発症し、30代後半には首から下の運動機能を全麻。1988年、全国初の福祉のデパート「ハンディ・コープ」を開業。1991年、ハンディネットワーク インターナショナル(HNI)を設立。介護・医療のオリジナル商品を開発・販売する。幅広いネットワークと、体験を通じた独自の視点と着眼で、大手医療法人の総合経営企画・コンサルティング、企業や自治体のプロジェクトに数多く参画。2003年、米国ビジネスウィーク誌にて『アジアの星』25人に選出。2005年、オリックス不動産(株)と共同出資し、高齢者住宅運営会社オリックス・リビング(株)を設立。2007年、公益財団法人国家基本問題研究所評議員就任。2008年、ハワイシニアライフ協会 名誉理事就任。自分がペーソナリティを務めたMBSラジオ「若者よ、だまされるな！」は日本民間放送連盟賞 近畿地区 ラジオ教養部門 最優秀賞を受賞。2014年、進行性筋ジストロフィーによる呼吸不全のため60歳で永眠。

主な著書に「僕にできること。僕にしかできないこと。」(幻冬舎)、「若者よ、だまされるな！」(週刊住宅新聞社)、「僕はそれでも生き抜いた」(仁バブリッキング)など。



『若者よ、だまされるな！』

発行／週刊住宅新聞社
2012年初版発行
定価／本体 1500円+税

Taiwan



株式会社ハンディネットワーク インターナショナル × 株式会社ユナイテッド ツアーズ

Good Time World Vacation

憧れのハワイ航路をもう一度、
懐かしい日本の風情を感じる、いまホットな台湾へ。

ユナイテッド ツアーズとハンディネットワーク インターナショナルがタッグを組んで
ご提供するのは、完全介護サービス付きの海外旅行。ユナイテッド ツアーズが培ってきた、
現地に根ざした最新・最上のプラン力とハンディネットワーク インターナショナル
のホスピタリティ抜群のマンツーマン介護で、要介護度5の方でも安心の、あなただけ
のフルオーダープランを考えます。

諦めていた家族旅行、その夢を叶えるお手伝いができればしあわせです。

Hawaii



Good Time World Vacation 台湾旅行モデルプラン		
1日目	午前	日本から台湾へ(空港例:成田・羽田・関西) 到着後、専用車にてホテルへ ホテルにアーリーチェックイン 【台北にて宿泊】
2日目	終日	故宮博物院観光 【台北にて宿泊】
3日目	終日	台北市内(郊外)観光 【台北にて宿泊】
4日目	午後	空路、日本へ 到着後、ご自宅へお送りいたします

上記のプランの料金例

【条件:参加人数 6名+TCA 1名の場合】

ビジネスクラス 7名利用

グランドハイアット台北

エグゼクティブスイート 1室+グランドクラブプレミアムツインルーム 2室+グランド
クラブキングルーム 1室

①渡航費 15万円 / 人 ②宿泊費 25万円 / 泊(4室分) ③TCA費 10万円 / 泊

④取り扱い手数料(旅行代金の20%)

合計:252万円(上記の①×7名+②×3泊+③×3泊+④)

※上記金額がベースとなりオプションが加算されます。

※上記に別途消費税がかかる項目があります。

Good Time World Vacation



台湾旅行モデル



「次は、以前に2度行った台湾に行きたい」とハワイ旅行から戻られたお客様からリピートオーダーをいただきました。医療・介護の手配に加え、スペシャルオーダーとして「故宮博物院をゆっくり見たい」と。特に、知識が豊富で詳しい説明を希望され現地ガイドの手配も行いました。また、台湾はリフト付きタクシーが充実しているので、予定外のお買い物のご要望などに臨機応変に対応することもできました。完全手配旅行だからできる、ご要望に応じたオーダーメイド旅行を満喫していただきました。



Good Time World Vacation



ハワイ旅行モデル



「もう一度、主人とハワイに行きたい！」と、70代の奥様からの1本の電話から始まったハワイ旅行。ご主人は、脳梗塞による重度の後遺症で半身不随となり、食事は経管栄養、言葉も不自由になられていきました。諦めていた旅行も、提携ドクターとの連携、関係各所への確認・調整、ホテルへのリクライニングベッドの搬入、車いすごと移動できるリフト付きタクシーなどの手配を経て、実現しました。ハワイの大空の下、ご主人の感無量の表情には喜びがにじみ、奥様の笑顔が輝きました。



Good Time World Vacation ハワイ旅行モデルプラン

1日目	午前	日本からホノルルへ(空港例:成田・羽田・関西) 到着後、専用車にてホテルへ ホテルにアーリーチェックイン 【ホノルルにて宿泊】
2日目	終日	ホノルル市内観光 【ホノルルにて宿泊】
3日目	午前	ホテルでゆっくり過ごす
	午後	専用車にてハナウマベイへ 【ホノルルにて宿泊】
4日目	終日	ホノルル市内観光 【ホノルルにて宿泊】
5日目	午後	空路、日本へ 【機内にて宿泊】
6日目	午後	到着後、ご自宅へお送りいたします

上記のプランの料金例

【条件:参加人数 6名+TCA 1名の場合】

ビジネスクラス 7名利用

ヒルトンハワイアンビレッジ

ジュニアスイート 3室

①渡航費 30万円 / 人 ②宿泊費 30万円 / 泊(3室分) ③TCA費 10万円 / 泊

④取り扱い手数料(旅行代金の20%)

合計:456万円(上記の①×7名+②×4泊+③×5泊+④)

※上記金額がベースとなりオプションが加算されます。

※上記に別途消費税がかかる項目があります。

Japan



株式会社ハンディネットワーク インターナショナルがおすすめする国内旅行

Good Time Travel

国内旅行

「グッドタイムトラベル」はお客様のご要望にお応えする完全オリジナル企画旅行です。お客様やご家族だけでなくかかりつけのドクターやケアマネージャーの意見も反映させ、安心してご家族皆様に楽しんでいただける旅行をプランニングします。さらに、ケアスタッフ(トラベルケア アテンダント)を同行させていただき、ご家族の介護の負担を取り除くとともに、介護を受ける方にも気兼ねなく楽しんでいただける旅行を実現します。



「母をゆっくり温泉に入れてあげたい」と始まった三世代旅行。海水浴やクルーズに出かけたい小学生のお孫様と、ゆっくりと過ごされたいお母様。ご家族で楽しみ方が違っても、トラベルケア アテンダントがいることで、ご家族それぞれが満足できる家族旅行となりました。

Good Time Travel 国内旅行モデルプラン		
1日目	昼	ご自宅から介護タクシーと自家用車で出発 観光＆ランチをとりながら、ホテルへ ホテルチェックイン お母様はトラベルケア アテンダントと入浴 お子様たちご家族は海へ
	晩	ご家族そろってディナータイム
2日目	朝	お母様はホテルラウンジなどでゆっくり お子様たちご家族は観光クルーズへ
	昼	ホテルチェックアウト 農業公園へ観光
	夕	ご自宅に到着

上記のプランの料金例

【条件: 参加人数 5名+TCA 1名の場合】

介護タクシーと自家用車を使用

(福祉用レンタカーも手配できます。運転はご家族様でお願いします)

パリアフリーフロア 洋室1室、和室1室

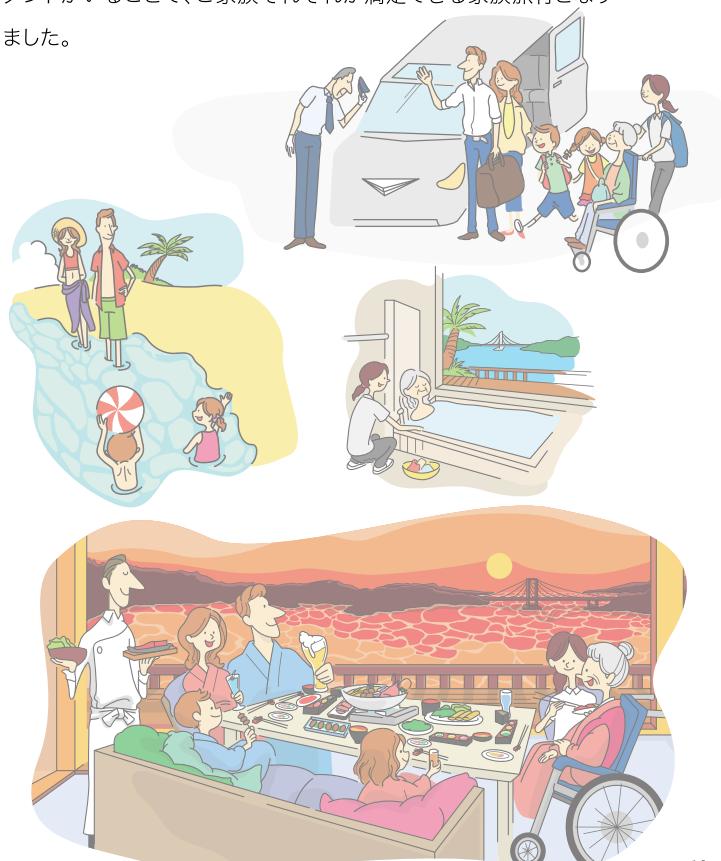
①交通費 4万円 ②宿泊費 16万円 / 泊(2室分) ③TCA費 10万円 / 泊

④取り扱い手数料(旅行代金の20%)

合計: 36万円(上記の①+②×1泊+③+④)

*上記金額がベースとなりオプションが加算されます。

*上記金額に別途消費税がかかります。



料金とご利用の流れ

お問い合わせから出発まで

ご出発日は、通常お客様のご要望を伺ってから2~3か月後となります。まずは、お気軽にお問合せ・ご相談ください。



旅行費用について

お客様のご要望に応じてプランニングするオリジナル旅行です。十分にヒアリング・お打合せをした後、旅行プランと合せてお見積りをご提示いたします。

交通・宿泊費や各種施設への入場料、食事代、保険料などの諸費用の他、「**トラベルケア アテンダント料金**」が必要です。

トラベルケア アテンダント(以下、TCA)料金 【税別表記】

基本サービス料金 (ご出発日 朝10:00 ~ ご帰宅日 夕方5:00 TCA1名の料金です)

1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日
100,000円	195,000円	290,000円	385,000円

- 夜間は別室にて待機いたします〈2回までの見守り・介護サービスを含む〉。
※定時にお部屋にお伺いし、必要に応じて、トイレ介助やおむつ交換等の介護サービスを実施いたします。
- TCAの交通・宿泊費や各種施設への入場料、食事代、保険料等の諸費用は、別途お客様のご負担となります。
- 夕方5:00以降のご出発、朝10:00までのご帰宅の場合、それぞれ5,000円の割引が適用されます。
※事前の取り決めなくスケジュール変更された場合には適用されません。
- ハイシーズンのTCA料金は25%UPとさせていただきます。(詳しくはお問合せください)

TCAサービス内容

- 車・鉄道等での移動介助、車中での安全サポート、宿泊施設内や観光地等での移動介助、食事介助、入浴介助、排せつ介助、ナイトケア・モーニングケア(就寝・起床の準備)、夜間の見守り・介護等がございます。
※TCAによる医療行為はできませんので、あらかじめご了承ください。
(緊急時の医療機関等への連絡・付き添い等は実施いたします)
- TCAの重要事項説明書を必ずお読みください。(詳しくはお問合せください)

夜間介護オプション (基本サービス料金に加算)

1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日
+30,000円	+60,000円	+90,000円	+120,000円

- 夜間は同室にて就寝し、安全を確保いたします〈必要に応じて介護サービスを実施〉。
※夜間に別室待機で、3回以上の見守り・介護サービスを実施する場合も同一料金となります。
- 2泊3日を超える旅行では、お客様へご提供する介護サービスの質を保つため、TCAを交代させる場合があります。
※TCAの交通費は別途お客様のご負担となります。
- 夜間介護オプションは事前のお申込みが必要です。宿泊当日のお申込みは承れない場合もございます。
(詳しくはお問合せください)

キャンセル料について

- TCA料金〈旅行出発日の前日から起算〉:
①45日目から30日目までのキャンセル〈サービス料金の20%〉 ②29日目から8日目までのキャンセル〈サービス料金の40%〉
③7日目から前日までのキャンセル〈サービス料金の50%〉 ④当日キャンセルまたは無連絡不参加〈サービス料金の100%〉
- 旅行代金:交通機関・宿泊施設等により異なりますので、お申込みの際にご確認ください。
- 取消手続料金:1件につき1,000円(税別)

【まずは、お気軽にお問合せ・ご相談ください】

● お電話でのお問合せは

TEL.072-725-3388 平日9:00~18:00

※ご来社の場合は必ず事前にご連絡ください。

● メールでのお問合せは

info@hni.co.jp

メールでのお問合せの場合は、お名前・ご住所・お電話番号・ご相談内容をお書きの上送信してください。

● ホームページへのアクセスはこちら

<https://goodtimetravel.jp/vacation/>

グッドタイムトラベル

検索

グッドタイム トラベルの新しい家族の旅 あきらめていた「家族旅行」を、もう一度。

僕が高齢者の皆様とそのご家族に向けた旅行業を始めたのには理由があります。それは最期までご家族と一緒に人生を輝かせていただきたいからです。旅行をしたいという思いはあっても、高齢になり体の不調を抱えると、それは心の不安につながり、気づかぬうちに諦めています。しかしこの状況でも、「せめてもう一度旅行に連れて行ってあげたい」と願われるご家族は少なくありません。一方で、高齢期に入り医療や介護サービスにかかる費用が増え、貯蓄はあっても年金の中でやりくりされている方は多くいらっしゃいます。だからこそ、健康で元気に暮らし続けるに越したことはありません。しかし僕は、体の元気や健康を保つのは医療や介護サービスだけではないとも思っています。



僕の父は進行性筋ジストロフィーという難病になり首から下の運動機能を全廃しました。いわゆる健康体とは程遠い状態です。しかし、自ら会社を立ち上げ第一線でビジネスを展開してきました。日々多忙を極めていましたが、僕たち息子との年3回の家族旅行は欠かすことなく続けてくれました。父を支えていた母の負担は言うまでもありません。それでも、夏は海へ、冬はスキーをしに連れて行ってくれたのは、家族のためであり、父自身のためでもあったのではないかと考えることができます。

体が不自由になると「あれもできない。これも諦めなければいけない」と考えがちですが、決してすべてがそうではありません。若かったころと同じようにできないこともあります。ときには諦めなければいけないこともあります。追い打ちをかけるようですが、日本の介護保険内のサービスや医療だけで、高齢になって心を輝かせ続けることは無理があります。働き抜き、子供を育てあげたご褒美の時間。このときに、心の元気を取り戻すからこそ、さらに生きる力がみなぎると考えます。旅行はそのうちの一つです。

読者の皆様、最期までキラキラ輝く人生を是非お過ごしください。

“あきらめていた「家族旅行」を、もう一度。”
多くの皆様にご活用いただければと願います。

株式会社ハンディネットワーク インターナショナル
代表取締役 春山 哲朗

► Good Time とは

「Good Time」とは、日本の老いに対する新しい概念である。

明るく、そして最期まで自分らしく輝いて高齢期を過ごすことである。

しかし、日本では高齢期を「老後」「余生」という。一生懸命働き抜け子供たちを育てあげたこの時間を「老いた後」「余った命」と表現する。

Good Time

このご褒美の時間を「だれと過ごすか、どこで過ごすか、いかに過ごすか」。

この新しい価値が日本の高齢期を変える。

本冊子は、まさに「Good Time」を過ごされている方にフォーカスし、この価値を伝えていく。

「Good Time」 定期お届け便(無料)のご案内

「Good Time」は7月、12月の年2回発行いたします。是非、定期お届け便をご利用ください。店舗や施設の待合スペースでの設置も可能です。ご希望の方はご相談ください。

【お申し込み方法】
TEL:072-725-3388 FAX:072-725-3088
MAIL:goodtimetravel@hni.co.jp

お届け先のお名前・ご住所・お電話番号をお知らせください。
※お客様の個人情報は、厳重に保管・管理しております。お客様の承諾を得た場合を除き、目的以外での利用はいたしません。